

日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会が10月9日、千代田区竹橋のKKRホテル東京で開催された。冒頭の出口利定日本教育大学協会会長（東京学芸大学長）の挨拶では、「国立教員養成大学・学部においては、学部改組、教職大学院の設置、大学院の大きくり化、学校教育法・国立大学法人法改正への対応等、これまでの教員養成システムの抜本的な改革が求められている」、また「今日の教育現場においては、教育課題が多様化しており、それに対応する教員養成及び学校の体制づくりが喫緊の課題になっているが、教員養成大学・学部であるからこそ、これらの今日的課題に積極的に取り組み、成果を広く社会に示すことが重要である」と述べた。

始めに茂里毅初等中等教育局教職員課長から、①文部科学行政の動向について②学制及び教員免許制度改革について、③平成27年度概算要求事項について、尾白泰次初等中等教育局特別支援教育課長補佐から、特別支援教育の現状及び特別支援学校教諭免許状の保有率向上について、圓入由美初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長から、英語教育改革について、里見朋香高等教育局大学振興課長から①平成27年度概算要求における高等教育局主要事項について、②学校教育法及び国立大学法人法等の改正について、③大学院段階の教員養成分野の教員数について、④平成26年度文部科学大臣優秀教員表彰候補者の推薦について、酒井貢生涯学習政策局情報教育課情報教育振興室長から、①平成27年度概算要求における情報教育関連事項について、②高校教科（情報）についての説明があり、説明後には活発な質疑応答が行われた。引き続き協議会では、出口会長から当日に行われた理事連絡会の報告があった後、各委員会からの報告及び各大学から提案された議題について意見交換を行った。

また、夕方には同会場で情報交換会があり、小田切忠人副会長（琉球大学教育学部長）の開会の辞に続き、茂里毅初等中等教育局教職員課長、里見朋香高等教育局大学振興課長に挨拶をいただき、安藤由和議長（鳥取大学地域学部長）の冒頭で乾杯となった。会の中盤、多忙の合間を縫って駆けつけた前川喜平文部科学審議官に挨拶をいただき、大いに歓談し親睦を深め、後藤ひとみ東海地区会長（愛知教育大学長）の挨拶で閉会となった。



左から、出口会長，江森副会長，勝山事務局長



出口会長



施策説明をする  
茂里教職員課長



施策説明をする  
里見大学振興課長



左から，安藤議長，小田切副会長



施策説明をする  
尾白特別支援教育課課長補佐



施策説明をする酒井  
情報教育振興室長



施策説明をする圓  
入外国語教育推進室長



左から、勝山事務局長，出口会長，前川文部科学審議官，  
鎌田東京学芸大学学系長



後藤愛知教育大学長



前川文部科学審議官